

平成 29 年度実績

(学会発表・研究会等)

1. 一ノ瀬直樹，長谷部啓子，本田一春，小田智三，木津純子，松元一明：肥満症例におけるバンコマイシン投与設計時の Cockcroft-Gault 式に用いる体重の検討．第 11 回日本腎臓病薬物療学会学術集会・総会 2017，2017 年（平成 29 年）10 月 1 日，福岡．
2. 一ノ瀬直樹，小田智三，横沢隆行，沼崎満子，櫻井勉，本田一春，上西紀夫：薬剤耐性アクションプランの成果指標を達成することは可能か？～当院の抗菌薬使用状況・薬剤感受性率の変遷と今後の課題～．第 62 回公立昭和病院臨床研究発表会，2017 年（平成 29 年）10 月 5 日，東京．
3. 一ノ瀬直樹，大場邦弘，荻野恵，小田智三，木津純子：注射用バンコマイシン塩酸塩の長期・高濃度投与の実際．第 64 回日本化学療法学会東日本支部総会，2017 年（平成 29 年）11 月 2 日，東京．
4. 戸塚恭一，小田智三，堀誠治，木津純子，大場邦弘，横沢隆行，一ノ瀬直樹：パネルディスカッション地域で取り組む AMR 対策を考える．第 2 回北多摩北部抗菌薬適正使用研究会，2018 年（平成 30 年）1 月 31 日，東京．
5. 一ノ瀬直樹，横沢隆行，小田智三：薬剤耐性アクションプランの成果指標を達成することは可能か～当院の抗菌薬使用状況・薬剤感受性率の変遷と今後の課題～．日本医療マネジメント学会第 18 回東京支部学術集会，2018 年（平成 30 年）2 月 10 日，東京．
6. 横沢隆行，神保明子，一ノ瀬直樹，森井大一，小田智三：血液培養結果の即日報告が広域抗菌薬使用回避に及ぼす有用性について．第 33 回日本環境感染学会総会・学術集会，2018 年（平成 30 年）2 月 23 日，東京．
7. 一ノ瀬直樹，横沢隆行，森井大一，小田智三，木津純子：経ロセファロスポリン系抗菌薬適正使用対策の評価．第 33 回日本環境感染学会総会・学術集会，2018 年（平成 30 年）2 月 23 日，東京．

*筆頭が感染管理部員の業績のみ記載。下線は感染管理部員氏名。